

[064] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10204>

出版情報：語文研究. 64, 1987-12-15. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

▼昭和六十一年度卒業論文題目(前号遺漏分)

浜松中納言の構想に関する一試論

武藤 典子

▼昭和六十二年卒業論文題目(九月)

長崎方言について

小田 由美

——名詞のアクセントを中心に——

▼昭和六十二年第一期講義題目(昭和六十二年四月～九月)

国語学

特講 国語学要論

奥村 教授

演習 平曲

〃

〃 国語学の諸問題

〃

特研 方言国語史

〃

特講 国語史の諸問題

迫野 助教授

演習 中世語研究

〃

〃 国語史資料研究

〃

特研 国語表記史の研究

江口 教授

特講 解釈文法の方法

(熊本女子大学)

中野 教授

国文学

特講 享保の学芸

〃

演習 本朝文鑑

〃

〃 続近世叢語

〃

特研 近世文学の諸問題

〃

特講 源氏物語注釈

今西 助教授

演習 蜻蛉日記

〃

〃 聖徳太子伝暦鼓吹

〃

特研 平安朝文学の諸問題

〃

特講 近代作家・作品研究

(教養部) 海老井 教授

▼昭和六十二年第二期講義題目

(昭和六十二年十月～六十二年三月)

国語学

特講 国語史の諸問題

迫野 助教授

演習 中世語研究

〃

〃 国語史資料研究

〃

特研 国語表記史の研究

〃

特講 上代語の研究

(福岡女子大学) 鶴 教授

臨講 国語史資料論

(京都大学) 安田 教授

国文学

特講 享保の学芸

中野 教授

演習 本朝文鑑

〃

〃 唐詩笑

〃

特研 近世文学の諸問題

今西 助教授

特講 源氏物語注釈

〃

演習 蜻蛉日記

〃

〃 聖徳太子伝暦鼓吹

〃

特研 平安朝文学の諸問題

(教養部) 海老井 教授

特講 近代作家・作品研究

〃

臨講 日本文学における漢語表現

小島 講師

▼昭和六十二年九州大学国語国文学会総会並びに研究発表会

昭和六十二年六月七日(日)

研究発表題目

清原宣賢自筆『日本書記抄』の声点

内山 京 希

韓・日漢字音の比較対照研究

蔡 本 常 彦

芥川文学の構図

松 本 啓 浩

大田南畝と江戸歌壇

久保田 啓 浩

言語行動と言語意識

山 泉 耀 子

重盛像の変遷

板 坂 耀 子

岡山大学本『平家物語』巻八について

橋 口 晋 作

——非当道系諸本との関係——

吉 田 達

『伊勢物語』における五つの「かいま見」を考える

花 田 俊 典

——六三段を中心に——

▼第三十七回西日本国語国文学会 於熊本大学

昭和六十二年九月二十七日(土) 二十八日(日)

研究発表題目

江村北海伝

高 橋 昌 彦

都市を描く

坂 坂 耀 子

(九州大学関係者のみ)

▼卒業論文構想発表会

於文学部会議室 昭和六十二年十一月十一日(水)

▼国語学国文学公開講演会

於文科系四〇一番講義室 昭和六十二年十二月十日(木)

俳諧研究と周辺領域

佐賀大学教授 田中道雄氏

二いろいろの外国資料

京都大学教授 安田 章氏

▼会員消息

渡辺暉学氏(昭和二十九年卒)は、去る六十二年八月二十二日逝去されました。衷心より御冥福をお祈り申し上げます。

昭和六十三年九州大学国語国文学会

総会並びに研究発表会のお知らせ

日時 昭和六十三年六月五日(日) 午前九時三十分より

場所 九州大学文学部

※研究発表御希望の方は、発表題目を明記の上、九州大学国語国文学会宛、昭和六十三年五月六日までにお申し込み下さい。

執筆者紹介

田 坂 憲 二 福岡女子大学助教授

坂 本 信 道 九州大学大学院(博士課程)

木 戸 裕 子 九州大学大学院(修士課程)

坂 坂 耀 子 福岡教育大学助教授

入 口 敦 志 九州大学大学院(修士課程)

蔡 京 希 九州大学大学院(博士課程)

石 田 忠 彦 鹿児島大学教授